

つくしの

第 29 号



平成12年 3月31日

福岡県立筑紫中央高等学校同窓会機関紙 発行人 村田 安 幸 事務局 大野城市中央1丁目3-18

筑紫中央高校野球部50周年式典・祝賀会



甲子園への道

—五十年のおゆみ—
筑紫中央高校野球部誌



野球部が50周年

記念誌も発行される

平成12年度 福岡県立筑紫中央高等学校同窓会総会

なつかしい あなたに会えるかも!!

■ 日 時 平成12年 6月18日(日) 11:00~

■ 当 番 高32回生 (昭和55年卒)

■ 会 場 のがみプレジデントホール “筑紫”

■ サ ブ 高17回生 (昭和40年卒)

平成10年度 同窓会決算報告

○収入の部

費目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	3,644,149	3,644,149	0	
全日制会費	8,100,000	6,913,000	▲1,187,000	@500×延13,826人 (月平均 1,152人分)
定時制会費	246,000	319,376	73,376	@300×延1,064人 (月平均 88人分)
諸収入	10,000	3,760	▲6,240	
計	12,000,149	10,880,285	▲1,119,864	

○支出の部

費目	予算額	決算額	残額	備考
事務費	200,000	107,088	92,912	事務用品・消耗品
会議費	1,000,000	150,356	849,644	総会・理事会諸経費
旅費	700,000	565,920	134,080	東京支部・理事会等出席旅費
渉外費	200,000	105,060	94,940	交際、渉外費
慶弔謝恩費	200,000	34,000	166,000	会員、学校慶弔関係費
通信費	600,000	28,780	571,220	理事会案内通信費
事業費	1,500,000	1,216,605	283,395	支部活動、広告宣伝活動費
人件費	180,000	170,000	10,000	事務員賃金
補助金	1,600,000	1,600,000	0	筑紫中央協会への運営補助
積立金	5,500,000	5,500,000	0	積立金会計へ繰り出し
予備費	320,149	0	320,149	
計	12,000,149	9,477,809	2,522,340	

- 総収入額 - 総支出額 = 残額
10,880,285円 - 9,477,809円 = 1,402,476円 (翌年度へ繰越)
- 積立金決算 平成9年度までの積立 20,662,136円 (平成10年5月現在)
平成10年度分利息 55,039円
平成10年度分積立 5,500,000円
計 26,217,175円 (平成11年5月現在)

監査の結果、上記のとおり相違ない事を証明します。
平成11年5月27日 監事 長沼美智子 柴田俊太郎 (印省略)

平成11年度 同窓会予算(案)

○収入の部

費目	平成11年度	平成10年度	比較	備考
前年度繰越	1,402,476	3,644,149	▲2,241,673	
全日制会費	7,500,000	8,100,000	▲600,000	@500×1,250人×12月
定時制会費	396,000	246,000	150,000	@300×110人×12月
諸収入	10,000	10,000	0	利息等
計	9,308,476	12,000,149	▲2,691,673	

○支出の部

費目	平成11年度	平成10年度	比較	備考
事務費	400,000	200,000	200,000	事務用品・消耗品
会議費	700,000	1,000,000	▲300,000	総会・理事会諸経費
旅費	600,000	700,000	▲100,000	東京支部・理事会等出席旅費
渉外費	200,000	200,000	0	交際、渉外費
慶弔謝恩費	200,000	200,000	0	会員、学校慶弔関係費
通信費	100,000	600,000	▲500,000	理事会案内通信費
事業費	1,500,000	1,500,000	0	支部活動費、広告宣伝費等事業費
人件費	180,000	180,000	0	事務員賃金
補助金	4,100,000	1,600,000	2,500,000	筑紫中央協会への運営補助、同窓会諸経費補助
積立金	1,000,000	5,500,000	▲4,500,000	積立金会計へ繰り出し
予備費	329,476	320,149	8,327	
計	9,308,476	12,000,149	▲2,691,673	

- 積立金予算 平成10年度までの積立 26,217,175円 (平成11年5月現在)
平成11年度積立予定 1,000,000円
計 27,217,175円



「わぁ！お久し振りね！」
「あんな、誰やっ
たかいね？」お
れ、〇〇たい！
あんたは誰か
いな？」今回も
賑やかな会話で
始まった平成11
年度の総会が、
6月13日、『の
がみプレジデン
トホール筑紫』
に於いて開催されました。
平成11年度の幹事は高校
31回生(昭和54年卒業)で、
サブ幹事は高校16回生(昭
和39年卒業)でした。
総会開催のノウハウを前
年度の幹事が次年度の幹事
に申し送るといふ伝統が確
立したこともありましたが、
幹事の精力的かつ熱心な活
動があったことから、出席
者は5百人を超え、盛大な
総会となりました。

なつかしい人との再開を喜び合う 平成11年度総会に約5百名が参加

今年度から、総会と懇親
会が同じ会場に設定され、
併せて、議事は資料配布に
より質疑のみに限定したこ
とから、短時間の進行が可
能になったため、懇親会で
は多く人とゆっくり歓談が
できたと好評でした。
議事は当番幹事が議長を
担当して進行、平成10年度
の事業報告及び決算報告
(左上に掲載)、平成11年度
の事業計画案及び予算案
(左下に掲載)がそれぞれ
審議されましたが、全
て提案どおりに可決・承
認されました。
なお、総会には、今村
筑紫中央高等学校校長及び
山本同教頭などの学校関
係者も参加され、祝詞を
いただきました。また、
当番幹事の在校時代の恩
師を代表して、加野先生
から当時の思い出話が披
露されました。



今年も総会に花を添えてくれた吹奏楽部

あの人この人 訪問記 ⑧

前田 淑氏

女高20回生
(昭和13年卒)



学位取得の経緯

旧制女学校同窓生で文学博士号を取得されたのは、目加田さくを(女・15回)先輩が最初だと思えます。福岡女子大学助手のころから、研究テーマのひとつとして、江戸時代に、地方の女性たちが書いた文学作品の調査や掘り起こしを四十余年続けてきました。

原点は母校のクラブ活動

私の、研究生生活の原点のひとつは、女学校在学時、夏休みに行なわれていた、クラブ活動でした。今は故人になられた、小林徳仁先生や豊田好邦先生の「文学散歩」、西尾芳記先生の「郷



土史研究」などは、わくわくしながら参加したものです。後年、多くの学生や社会人の方たちの文学歴史散歩で、現地指導を続けたのも女学校時代に育まれたものが原点でした。この学校の周辺には、日本の文学や歴史に係わる史跡も多いので、それらを生かしたクラブ活動が、これから復活することを期待しています。

若い人へ

若い人たちは、未来志向が強いので、私たちの祖先がつくってきた伝統や文化には関心が薄いように思われます。宗教にしても、同

その一部を数年前に著書にまとめ、『江戸時代女流文芸史―地方を中心に―』(旅日記編)として、平成10年5月に東京の出版社から刊行しました。この書物を、学位申請論文として九州大学に提出し、平成11年3月に文学博士号を授与されました。

少数意見を大事に

じことがいえ
るでしょう。
しかしこの
世には、人知
の及ばないも
のがあること
を知り、それ
らに対する畏
敬の念を失っ
てはならない
と思います。
人が人として
心豊かに生き
るためには、
自分が気ままに生きてい
るのではなく、生かされてい
る存在であることを、まず
知ることが大切ではないで
しょうか。

堅実な人柄を作る校風

旧制の女学校時代から母校が持っていた、目だたないけれど堅実な人柄を作る校風を、今後も是非持ち続けたいと思います。同窓会からもアピールして下さい。そして、市井の人として堅実に生きている卒業生の方々も、是非新聞に取り上げて欲しいと思います。

野球部史「甲子園の道」 輝やかなしい50年を綴る

母校の野球部が創部50周年を迎え、平成11年8月28日(日)『のがみプレジデントホール筑紫』に於いて、野球部OB、現役、野球部父母の会、歴代監督・コーチ・部長等の恩師、今村学校長、村田同窓会長などの関係者が出席して、盛大に記念式典が挙行されました。

母校野球部は、昭和24年に雑餉隈校舎時代に産声をあげました。当時はグラウンドも狭く、打ったボールが、道路の向こうの雑餉隈駅(現在のJR南福岡駅)構内に飛び込んでいたそうです。

昭和30年に大野城市の現在地に学校が移設されてからは、のびのびと、また、しっかりと、野球に打ち込むことができるようになり、以後、着実に力をつけてきました。昭和45年には『第42回選抜高校野球大会』に出場し、憧れの甲子園球場の土を踏んでいます。

このような輝かしい記録を後世に残し、今後の活躍を期待すること等を目的として、記念誌『甲子園への道』(A4版200ページ)が発刊されました。

発刊には記念誌作成委員会(大岡隼人委員長)が結成され、取材に原稿依頼にと、その作業は毎週3回、延べ100回にも及んだ結果、完成した記念誌は、他の学校に類を見ない素晴らしいものになり、西日本新聞にも取り上げられました。



記念誌作成委員の皆さん



木版画に額を設置

版画家である竹岡洋子（1回生昭和24年卒）さんから寄贈されていた母校創立80周年を記念した8点の木版画に、鑑賞しやすいようにと、額が取り付けられました。

この額は竹岡さん自らが寄贈し、取り付けたもので、この額により、一点一点の作品が一層引き立って見えるようになりました。

この作品は母校正面玄関右手の壁に展示し、在校生や来客者に鑑賞されています。是非、ご鑑賞ください。



ハワイで同窓会

女学校第28回（昭和21年卒）卒業生の皆さんが、平成11年5月にハワイで同窓会を開催しました。

昭和21年卒と言えば、卒業後51年目。これを記念しての海外での同窓会であろうと思われませんが、なんと羨ましく、是非ともあやかりたいものです。

昭和24年東京支部総会時 約25年前の写真発見



写真提供：6回生石内信幸氏

この総会には、今村校長

総会には、東京都内の他神奈川、埼玉、千葉、群馬などの各県から、約150名が参加されました。このように多数の参加者があったのは、今回の幹事である第6回生（昭和29年卒）が、総会開催案内を新聞に掲載したことが功を奏したようで、幹事に問い合わせがひっきりなしにかかっていたそうです。



今回は百五十人が参加 今村校長を迎え

東京支部が総会開く

東京支部総会が、平成11年9月12日に東京都内で開催されました。をはじめ、村田同窓会長、藤先生も出席され、懐かしい顔が久し振りに揃ったこともあり、大いに盛り上がり



「太宰府支部」では、平成11年10月24日に、世話人会を開催しました。

世話人会では、(1)役員体制の充実を図る (2)支部総会に開催となります。

役員体制を充実強化 太宰府支部は世話人会

会は、一年置きに開催することを決定しました。このことから、次回の太宰府支部総会は、平成12年度に開催となります。

筑友会も 総会開く

福岡市役所に勤務する母校卒業生で構成している「筑友会」でも、平成11年度総会を平成11年7月16日、平和楼で開催しました。

りました。また、今村校長から母校の現況が披露され、出席者も懐かしそうに聞き入っていました。

平成12年度版は
平成12年8月頃
発行予定です。
掲載記事を待ってまーす。



威風堂々
母校体育祭開かる